

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年11月2日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年11月2日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【増設多核種除去設備(B) クロスフローフィルタのろ過水の白濁について】 増設多核種除去設備(B)について、設備点検後の運転再開に合わせ、設備管理グループにてクロスフローフィルタ通過直後のろ過水を目視確認したところ、本来、透明であるはずのろ過水が白濁していることを確認し、当該設備を停止した。今後、白濁の原因を調査していく。 なお、クロスフローフィルタ下流の吸着塔入口水の分析を行ったところ、社内で定めている基準値を下回っていることから、白濁の影響は吸着塔までには至っていないものと推定している。 また、水処理については、他系統にて可能なため問題なし。</p>	G II	10月27日